

第 17 回環境教育・環境学習ネットワーク会議 会議要旨

日 時：平成27年 5 月28日（木） 15:00～17:00

場 所：市役所 3 階会議室 B

出席委員：高橋弘二座長、鈴木副座長、奈良谷構成員、野崎構成員、桐谷構成員、
高橋直人構成員、内船構成員、太田構成員、宇佐美構成員（9名）

事務局：環境政策部環境企画課（小澤課長、笠原主査、大場、山中）

傍聴：1名

◆ 会議の流れ

1 開会

2 報告

（1）平成 27 年度環境教育・環境学習関連事業庁内調査結果について

（2）平成 27 年度教員向け環境学習講座開催内容および参加の案内

3 議題

（1）平成 27 年度人材育成講座について

（2）横須賀市環境教育・環境学習マスタープランの見直しについて

（3）環境教育・環境学習ネットワーク会議構成員の変更について

4 その他

事務連絡

◆報告 1 「平成 27 年度環境教育・環境学習関連事業庁内調査結果について」

[要旨]

例年実施している庁内での環境教育に関連した事業の調査を実施した。今年度は 9 部局で 100 事業の実施が予定されている。

高橋座長

ご質問、意見がありましたらお願いします。

この資料は今回の会議用に作られたということですが、どこかに出すことはありますか。

事務局（笠原主査）

昨年も同じようなご指摘を受け、環境カレンダーなどを作り広く周知できれば、と話をしたが、技術的な面もありまだそこまでいっていない状況。庁内にはこの資料をフィードバックし今後部局間のタイアップができるかなどの目線で見直しして欲しいと考えている。これを集約、統合するのではなく、他のところで行っているものを自分のところでもでき

ないかという目線をもって各部局が取り組むための庁内活用資料である。

高橋座長

その他、感想、ご意見がありましたらお願いします。

奈良谷構成員

これは何度目の調査ですか。

事務局（笠原主査）

エコ通信を発行するようになってから毎年行っている。以前は部局順に一覧表にしていたが「目線が違うのでは」とのご指摘をいただいたので、昨年からイベントや発表、展示といったカテゴリーに分けた形式にした。

高橋座長

昨年の数が 99 で今年は 100 に増えていますね。

野崎構成員

この資料は平成 27 年度のこれから行われる環境学習関連の事業の予定ということなのか。例えば昨年度は 99 の事業があり、参加予定人数の記載はあるが、だいたいどのくらいの人が参加したのかがまとめてあるものはあるのか。結果を教えて欲しい。

事務局（笠原主査）

平成 26 年度の実績としてまとまっているのはこの形ではない。環境基本計画の全体の進行管理の中にこの事業が盛り込まれているので、基本計画の年次報告の中で集約されている。ただし、環境教育はどれというような目線では集約はしていない。現状では事業毎のものはない。

◆報告 2 平成 27 年度教員向け環境学習講座開催内容および参加の案内

〔要旨〕

今年度も、教員を対象とした環境学習講座を開催する。講師には、NPO 法人三浦半島生物多様性保全の天白牧夫理事長に依頼し、「外来生物スタディウォーク」をテーマに、場所はしょうぶ園で開催する。

高橋座長

参考として資料に昨年度の実績が記載されていますが、昨年は田んぼの件で天白さんに

説明していただき、その後、長坂の田んぼの方へ移動しました。今年は目的が変わり場所は横須賀しょうぶ園です。今はしょうぶの花がきれいですが、8月になると花は少なくなり、しょうぶ園は無料になります。この時期に環境学習講座を行うということですが、質問やご意見がありましたらお願いします。

野崎構成員、昨年参加されましたが、感想やご意見はありますか。

野崎構成員

昨年、教師の方が対象でした。里山は田んぼも含めて沢山池周辺の自然、みどりについてご案内いただいたと記憶していますが、私自身、田んぼでは活動を行っていないのですが、大楠山近辺の自然の中で天白さんと共に観察の活動をしているので、それに加えて珍しいものを一つ、二つ教えていただいたので個人的に得るものがあった。今年の外来生物についても植物のことも含めて講義があるということで、横須賀市内は外来生物について色々と問題があるようなので、楽しみにしている。

高橋座長

宇佐美構成員、8月5日この時期、先生方はいかがですか。

宇佐美構成員

補足ですが、教員の夏期研修の一覧を6月に出す予定で、まずはそれに掲載する。夏期研修はコンピュータで申し込みをしますが、そちらにも協力をいただき載せることができたので募集はそのような形で行う。教員は夏休みにここぞとばかりに研修に出掛けるので時期としては暑いですが、いい時期だと思う。

◆議題1 平成27年度人材育成講座について

【事務局からの説明】

今年度、実施する人材育成講座について検討をお願いしたい。相互交流を生かした人材育成講座として、全2回で一つの講座と考えている。第一日目は、横須賀の自然環境を見つめ直すことを目的として、横須賀の環境に詳しい博物館学芸員の方をお願いしたいと考えている。第二日目は、企業における環境の取り組みを考えているがどうか。

高橋座長

これから審議に移ります。今の説明に対して質問や確認事項がありましたらお願いいたします。もしないようでしたら、ご意見をお願いいたします。

人材育成の意味。これは受講した人のレベルアップはもちろんですが、それだけではなくここで学んだ人は更に他の人に対して、周りの人に対して、人材育成なり環境活動なり、

啓発をやっていくということで単に受講者のレベルアップだけではないということだと思いますがよろしいですか。

事務局（笠原主査）

その通りです。

高橋座長

具体的に資料3の①案、②案の両方をやると説明がありましたが、この内容につきまして時期はいつ頃を考えていますか。

事務局（笠原主査）

①案につきましては、内船構成員にご相談し、内々にはご快諾いただいている。一つの案として、博物館で標本に関する特別展示を7月から8月にかけて行うので、その展示にもつながる講座と、実物を見てもらうような内容と時期を考えている。また、具体的には特別展示中のタイミングだと一般のお客さんがいるためなかなか難しいので、特別展示が終わった後の特別展覧というかたちで9月1日または2日のご提案をいただき、候補にしている。

②案につきましては、訪問する企業の予定にもよりますが、なるべくこの講座をまとめた形としたいので、9月中旬から下旬にかけて訪問できる企業があれば見学したいと思っている。

高橋座長

9月に2つを行う計画ということですか。これは平日ですか。

事務局（笠原主査）

平日です。

鈴木副座長

今年度、②案についてめばしいところはつかんでおりますか。募集してもなかった場合はどうするのですか。ある程度の環境活動を行っている企業はどんな形で探すのか。

事務局（笠原主査）

事務局で新しい議題を持っているわけではなく、皆さまからご提案があればその企業にあたってみるのも一つと考えている。

鈴木副座長

一つ提案ですが、久里浜地区と追浜地区と二つに分かれているが、まとまりがあるのは追浜地区。追浜工業会の事務局の方に相談するのが早いかなと思う。

奈良谷構成員

YRPのニフコさん辺りはどうか。

高橋座長

どうアンテナを広げて情報を得るか。今のところはネットワーク会議構成員の大企業ばかり行っているが、市内の中小企業で色々環境に支援されているところが見付かればそのようなどころも面白いと思いますが、調べるのが大変かなと思う。

事務局（小澤課長）

横須賀市地球温暖化対策地域協議会の理事でもある東京ガスさんから「是非、来てください。」と前から言われており、バスを用意していただける話もあるので、一つの案として提案する。

高橋座長

基本的には遠くに出掛けることは考えていないか。市内ということか。

事務局（小澤課長）

日帰りであれば、市内ではなくとも構わないと思う。

高橋座長

東芝の横浜事業所へ行ったことがあります。

事務局（小澤課長）

横須賀市内で出来れば一番いいのですが、なければ市外でもいいと思う。

高橋座長

電中研なども面白いですね。

事務局（小澤課長）

色々なことをやっているの面白いと思う。

鈴木副座長

GNFはどうか。

高橋座長

大分、縮小しているのでは。

奈良谷構成員

京急さんやJRさんも面白いかと思う。関わっているとえば関わっている。どこに行ったらいいのかというのがありますが、商工会議所に話を投げかけるという手もあるかと思う。

高橋座長

浦郷にある「リフレックス」も面白いのですが、工場長が我々と一緒に海のことをやっている。

鈴木副座長

アマモか。

高橋座長

はい、アマモ場の生き物観察です。

今日、結論を出すわけではなく皆さんに意見を伺い事務局で計画を立てていただくというのですが、何か他に要望がありましたらお願いします。

野崎構成員

①案ですが、博物館の特別展示のテーマは決まっていますか。

内船構成員

7月4日から8月30日まで「標本いろいろ」というタイトルで自然科学の資料を展示する。博物館の自然物を集めてきて、それをどう処理して、保管しているかの部分を展示しながら説明し、これから先も地域の自然をどうやって博物館が残していくのか市民の方と一緒に考えていく機会になればいいなと思っている。どちらかと言うと自然の分野の展示なので、上手く日程が合うといいと思っている。

高橋座長

以前に「すかつ子セミナー」の子どもたちが案内をしていただいたことがあるのですが、子どもたちも楽しみ、私自身も面白かったのは、バックヤードの見学をさせてもらったことです。普段見ることのできない保管庫にはものすごくたくさん保管されており、そのようなものを見せていただき、博物館を見直したことがありました。そのような内容も含め

て、表に展示されているものだけではなく、裏側や博物館全体として保管しているものを見せていただけるといいかと思う。

野崎構成員

先程アマモの話も出ていましたが、昨年度も今年度の研修も里山やしょうぶ園といった陸地での自然についての学習が続いているなど感じる。三方を海に囲まれている横須賀なので、東京湾や相模湾など海についての知識を得るのも面白いのではないかと思う。私たち素人が地球温暖化のことなどを直接知るには、今、海の変化に気を付けていたい、様子を知りたい思いがありますので、今年でなくてもいいので、海の学習をしていただくとこれから先良いのではないかと思う。

高橋座長

横須賀には立派な天神島臨海自然教育園があるが、廃止になるのではないかというような見直しがあるようですが。

野崎構成員

ビジターセンターだけではないか。

高橋座長

有効活用しないと、だんだんそうなってきたてしまいます。その件はいかがですか。

公共施設の見直しの中に入っているようですが、ビジターセンターだけですか。自然教育園は残すのか。

内船構成員

はい。自然教育園は入っていません。それも長期的な中でどうするかということ。

高橋座長

もう少し自然を考えて利用して欲しい。確かに行ってみると立派なのですが、あまり利用されていない。

野崎構成員

一般市民が利用していないということに責任を感じる。もう少し利用させていただきだったと思った。将来的には本館と一緒になるということか。

内船構成員

そのような感じで話し合っているわけではなく、これからも博物館としてビジターセン

ターは頑張っていきたいと思っているので、廃止することを前提に諦めているわけではない。

野崎構成員

よろしくお願いいたします。

高橋座長

①案は内船構成員が担当していただけるのですか。せっかくなので、室内だけでなく裏の中央公園の辺りの外を含めてもいい気がする。

内船構成員

面白いと思う。その一週間前に子どもたちを連れて「せみ」の抜け殻探しをする予定。毎年800匹くらい抜け殻が見付かります。その翌週に皆さんで歩くと1個もないのではと思う。

高橋座長

では、事務局で今の内容を踏まえて①案、②案の2つをお願いします。また、構成員の皆さんで②案の企業に関する情報がありましたら事務局に連絡してください。

◆議題2 横須賀市環境教育・環境学習マスタープランの見直しについて

【事務局からの説明】

第16回会議の意見等を参考に「見直し案」を作成した。この「見直し案」を基に、全体の構成、具体的な記載などについて議論をお願いする。

高橋座長

内容が多岐に渡っておりますが、質問や確認事項がありましたらお願いします。特にならなければご意見はございますか。

それでは事務局からお願いします。

事務局（笠原主査）

1点目は計画期間を設けることについて議論いただきたいと思う。今までは、この計画はいつまでの期間なのかが全く明記されていなかった。

高橋座長

具体的にはどういう形ですか。

事務局（笠原主査）

プランなので期間を設けるのは普通なのではないかというようなニュアンスをお持ちであれば、このかたちにさせていただきたいと思う。特に賛否を問うわけではないのですが、「こうした方がいいのでは」などのご意見があればいただきたいと思う。

高橋座長

期間が限定されれば、それを目標にやらなくてはいけないということで、実施するにあたってはその分、実現性が上がるかと思う。

事務局（笠原主査）

環境教育はなかなか目標を数値化するのが難しいプランだと思う。そのため、素案の中で数値的な目標は掲げていない。次の見直しにあたっては、上位計画である環境基本計画の目標達成状況や、環境教育の分野に関する情報ともリンクさせながら行っていくことができる。期間がないとズルズルいく形になるので期間を設けたい。

高橋座長

環境基本計画に盛り込まれているものは、年次報告といった形で毎年行うわけですね。それに盛り込まれていないような計画、その見直しをどうするかですね。

事務局（小澤課長）

現行のマスタープランは一つ前の計画なので、今回の基本計画が後5年くらいで終わるが、その段階ではプランを振り返る必要があると思う。いつ行うかということだが、今回の中間見直しで現行の基本計画に合わせた形で終期を設定しておくことで、必ず次回併行して見直しを行うことになるので、期間を設けるのは皆さんに意識してもらうには効果があると考えている。

高橋座長

基本的には環境基本計画に準ずる形でいいわけですか。

事務局（小澤課長）

はい

高橋座長

特にご意見がなければ、そのように進めていただければと思う。

事務局（笠原主査）

次にご意見をいただきたい点に移ります。これまで記載があったものがなくなると気になると思いますが、お手元のマスタープランの12ページをご覧ください。

真ん中に表があり、主な具体的事業として、どこが誰を対象にどんな事業を行うかが表になっている。今回の新たな見直し案では、こちらはプランの中には盛り込まずに別紙にするというところが大きな変更点となっている。先程の野崎構成員からのご意見にもつながるが、今までは実施の結果というものが見えなかった。資料4-3をご覧ください。例えば平成28年度に（1）環境にやさしい社会を推進する人の育成と活用の促進「人づくり」に関する事業をどのくらい行うのか具体的にあげる。この事業は環境基本計画の進行管理に該当する全てを補っているので、28年度の実施結果は29年度に年次報告書として集約される。該当する事業を整理すれば28年度実績としてお見せできる形になります。事業がきちんと連動した中で、基本計画にも掲載されており、マスタープランにも固めている事業としてつながりをもった形で、同じものを見せ方だけ変えるようになる。今までは、バラバラで分かりづらかったので、こういう形にすることで、マスタープランはあくまでも方向性を掲げるところまでとし、それに基づく事業については、環境基本計画進行管理において、その結果を表すことでどのくらいの事業がどういうふうの結果として出てきたかが分かる。これが先程、野崎構成員からご意見のあった「結果が見えない」といった点に関して、そういったつながりでお見せできるようになると考えている。これが今回の見直しで事務局が考えている案になる。現行の計画と比べると大きな変更点となるので、この点についてご意見をいただきたい。

もう一点補足として、見直し素案の14ページをご覧ください。今まで、記載があった事業の代わりに環境基本計画で掲げている「環境基本計画における施策の方向」として7項目記載してあるが、環境基本計画の中で5の環境教育を進める施策の方向は上の2つで、それ以降の5つは別の目標の方向。今までは少ない部分の施策でしたが、環境基本計画の柱になっているものをこういう形にしているので、環境教育に関する施策の方向に漏れはないと思う。ここの部分も変更点の一つになる。

高橋座長

太田構成員がここで退席になります。今期最後の会議になりますので、一言お願いします。

太田構成員

夏のフィールドワークを楽しみにしている。教育委員会の方へ出席しなければならず、出席できないのですが、外来種が木を食べていたり、種子を食べていることが、子どもたちには「あれは木の模様ではないのですか」と非常に環境に対しての良い教材であって、

環境学習に入っていくのに良い教材であるので、その場を提供していただくことを有難く思っている。今後共よろしく願います。

高橋座長

それでは本題に戻ります。何かございましたら願います。

鈴木副座長

8 ページの (2) 各主体の現状と課題 3) 事業者には平成 26 年度末 ISO14001 認証取得事業所数が 68 社と記載されており、マスタープランには平成 18 年度末に 79 社と記載がある。資料には「企業での環境に対する取組は増えています。」と書いてある。実際は 79 社から 68 社に減っているが、この表現でよいか。平成 8 年度には 1 社であったようだが、上がって、下がっているなのでこの表現でいいのか。また「地域のクリーン活動への参加や環境教育活動などを行う企業が増えています」ということだが、環境活動を行う企業というのを事務局で把握しているか。どういうことをやっているのかなど。どこをベンチマークにしているのか。平成 8 年がベンチマークなのか。

事務局（笠原主査）

まず数字が減っているのは承知している。平成 8 年度と比較しての文書なので、このかたちになっている。18 年度と比較すると減っている。理由としては、取得していた企業がいなくなったというのがある。18 年度の企業と全部を比較したわけではないので、細かい分類までできていないのが現状。

高橋座長

中小企業は ISO を維持管理するのにお金がかかります。認証登録を更新しないところが結構出ています。

鈴木副座長

横須賀から撤退した企業が認証していたというのは分かる。横須賀市はどうか。

事務局（笠原主査）

横須賀市は元々 ISO14000 を取得していたが、市独自のプランということで「YES」というプランを掲げて ISO に準拠したものを実施している。ここで言っている 68 社には入っていない。企業によっては先程座長がお話された ISO の更新は莫大な費用が掛かる面もあり更新を踏みとどまっている企業もあるかと思うが、実状まで把握するのは難しい。この文書のままでいくと前回との比がないので、一旦は 68 社となって平成 8 年度ベースの ISO が始まった時から比べると認知度が広がったという意味でこの表現にさせていただいた。上が

って下がった部分は承知しているのですが、なぜ取得を止めたのかという確認までは取りきれていない状態。各社が独自の基準に基づいてやっているところもあれば、企業の面なのか、または会社の撤退なのかは把握できていない。もう1点、環境教育活動を行う企業が増えているという点は、その時のベースがなく今回も調査しているわけではないので以前の文書をそのまま引用している。

鈴木副座長

以前の文書もいかなものかと思う。

4) 学校に、「教科横断的な学習」と非常に専門的な文が入ってきたと思う。これを調べてみた。平成14年学習指導要領で導入されたもので、総合的な学習の時間が代表ということが書いてある。つまりここで社会に役立つ環境についての教科を越えてとあるが、具体的例としては資料1 「平成27年度環境教育・環境学習関連事業庁内調査」の「5.子ども向け体験学習、学習講座」の小中学校の派遣、もしくは出前授業と解釈してよいか。総合的な学習の時間は学校の中で決められている。これが基になっていると理解してよいか。例えば60番「市民ボランティアを環境教育指導者として小・中学校等へ派遣し、水環境、大気環境、ごみ問題、地球温暖化などについての環境学習を行う。」はこれに値するということか。

事務局（笠原主査）

はい。総合学習の中の一つになる。

鈴木副座長

お子さんがお休みの日に環境を学習するというのは違いますね。

事務局（笠原主査）

はい。

鈴木副座長

5) 地域にこどもエコクラブが削除されているが、理由は書いてあるか。

事務局（笠原主査）

削除した理由は記載しておりません。エコクラブ自体は現状も活動している。

鈴木副座長

これは環境省が作り出したものですが、今エコクラブはどのような形で動きがあるのか分からないが、特に大きな問題なく削除したということか。

事務局（笠原主査）

エコクラブの事務局は横須賀市環境企画課が行っているが、厳密にはエコクラブ加入の周知までは行っていない現状。エコクラブの活発というのは表現としてあり得ると思うが、エコクラブ全体が地域として活発化しているかというのは少し厳しいところから割愛した。

高橋座長

エコクラブの登録数はここ数年あまり増えていないですね。

事務局（笠原主査）

増えていない。

先程の学校の文言などは、これから庁内に照会をかけるのでそのまま残しているという現状。学校の部分の表現はこちらではあまりいじらずに、これから皆さんの意見を反映させ再度確認をしていただくと共に、庁内の部局に細かく見ていただき、表現などは専門の部局から意見をいただくことになっている。

高橋座長

先程、鈴木副座長が言われた、学校から離れた子どもたちの環境教育がどこにも出てきませんね。

鈴木副座長

心配したのは、マスタープランの参考資料にこどもエコクラブが書いてある「2人以上の子どもと活動を支える大人（サポーター）で構成され、地域の中で楽しみながら環境に関する学習・活動を展開しているクラブのこと。」とありますが、割愛してしまったら他にエコクラブがあるのかと思った。

高橋座長

エコクラブだけでなく、我々がやっている小中学生の土曜体験プログラム“すかつ子セミナー”のような活動がどこかに入っているといいかと思います。

鈴木副座長

2箇所エコクラブが入っていて、1箇所抜けてしまいましたが、最後の参考資料に入っているので、これでクリアになると思う。

高橋座長

横須賀市の後援をいただいておりますので、どこかに入ってくるといいかなと思う。

高橋直人構成員

先程の調査で、行政ではこれだけの事業を行っているという実績が示されたので、各主体の現状と課題の行政の部分には、これらに関する記述も入れておいた方がよいと思う。

事務局（笠原主査）

もう少し手厚く書いた方がよいということか。

高橋直人構成員

はい。前回の計画時より、行っていることがかなり多くなっていると思う。

高橋座長

今出ましたご意見、質問を踏まえて事務局でまとめてください。今日は小学校の先生が欠席なので、内容的には教育委員会でカバーできると思いますが、現場の先生が欠席なので先生のご意見も聴取して計画に反映されるといいと思う。

事務局（笠原主査）

今のことも踏まえつつ、また改めてご意見がありましたら6月17日までにメールでお送りください。それをまとめた上で庁内や学校の先生に伺いたいと思う。そして素案からレベルを上げた見直し案を作り、そこには庁内照会をした結果も入れて送りたいと思う。

高橋座長

意見、提案ありましたら6月17日までにメールで連絡するようお願いいたします。

◆議題3 環境教育・環境学習ネットワーク会議構成員の変更について

【事務局からの説明】

高橋座長

以前は環境企画課一つだったのが、環境企画課と自然環境共生課に分かれました。特に里山作りとして自然環境共生課の方で色々やっています。この代表として1名、ネットワーク会議の構成員に増やす。設置要綱が15名なので設置要綱の改正にも関係してきます。いかがですか。

奈良谷構成員

行政の組織も必要に応じて部署が分かれたり変化があると思うので、そうしていただい

の方がいいと思う。

高橋座長

ギリギリやっているのはどうなのか。20名以内としていて、「今回は15名です。」「今回は19名です。」でいいのか。またはギリギリの16名でいいのか。

桐谷構成員

元々15名と決めた経緯はありますか。

事務局（笠原主査）

把握しておりません。

高橋座長

構成員の所属がバランス良く「地域活動団体」、「事業者」、「学校」、「行政」と入っていますが、行政が6名になるということですね。それではバランスが取れないなどのご意見はありますか。特にご意見がなければ、事務局の提案どおり要綱を変更していただいて次回から16名でお願いします。

以上をもちまして審議事項が終了しました。事務局からの話になりますが、これをもって第3期のネットワーク会議が終わりますので、簡単に一言ずつ感想をお願いします。

鈴木副座長

これからマスタープランの見直しがあるので、これを確実にまとめあげてほしい。今年度それぞれの部署で環境教育の企画を計画していると思うが、協力していきたいと思えます。よろしくお願い致します。

高橋直人構成員

2年間ありがとうございました。この会議に参加していく中で、現在、作成している「環境教育・環境学習マスタープラン」の概要をみていくと学びを生かしていく生涯教育や生涯学習で目指しているものと同じだと感じています。市全体でこのように進んでいくことを願っています。ありがとうございました。

奈良谷構成員

今日改めて、もう17回なんだと思いました。このネットワーク会議がなかった頃と今を比べてみると、なかった頃は学校に橋渡しができてないのかな。もっと色々窓口があればいいなと思っていましたが、皆さまのご意見と事務局のご足労もあり、窓口的なもの、橋渡し的なものは出来てきたと思います。個人としては、始めた頃はバリバリとやっ

したが、今時間がなかなか取れなくなり、以前のように活動が出来ていません。また、いずれ時間が取れるようになりましたら、微力ながらお役に立てればいいなと思っています。本当にいい勉強をさせていただいています。ありがとうございます。

野崎構成員

学校に派遣される環境教育に係る一人材としまして、保育園も含めて事務局で連絡をつけていただき、今まで機会をたくさん与えていただいておりますことにお礼を申し上げます。自分を含め周りを見たときに派遣される人員の数が減ってきたり、年齢が上がったりと最近心細い思いをしています。先程説明がありましたが、マスタープランの素案にも入れていただき、重点政策になっていきますが環境教育に係る人材育成のための制度を重要課題として考えていただき、そちら主導でその面での窓口が描かれて成果が出るという期待をしています。何もかも市にお願いするのは気が引けますが、糸口を作っていただき市民に呼びかけていただくことは重要なことだと考えていただきたいと思います。ありがとうございました。

宇佐美構成員

2年間ありがとうございました。教員向けの学習講座にたくさん教員が集まるのが環境を大事にする子どもたちを育てることにつながると思いますので、そこでお力になればと思います。環境企画課にアイデアをいただき昨年は少し人数を増やすことが出来ましたので今後もっとお役に立てるように努力したいと思います。

内船構成員

第3期もお世話になりました。今年度は事務局の配慮によって博物館で講座を開設していただけたとのことです。この場で話題にあげていただけることをとても喜ばしく思っています。また座長には度々博物館の情報をこの場で話す機会をいただき大変嬉しく思います。環境学習の一つのセクションとしてこれからもよろしくお願い致します。

桐谷構成員

2年間ありがとうございました。環境にやさしい車の開発というところで事業をしていますが、そのような車を世界中に広めていきたいという強い思いでやっております。ふと足元を見ると事業をやらせていただいている横須賀市では皆さんどう思われているのか、実は十分ではなかったとこの2年間でしみじみ感じました。市民の活動団体の方、学校関係の方、行政の方、こういう視点で考えているのだなと私自身初めて身にしみて色々なことを考えるいい機会でした。出来るだけ皆さんのお役に立てるように協力していきたいと思います。今後共よろしくお願い致します。

高橋座長

皆さんのご協力のお陰で無事にネットワーク会議を務めることができました。ありがとうございました。一構成員としてですが、先程、野崎さんが言われたことは痛感していることです。小学校、保育園で環境教育、エコ育をしておりますがそのメンバーは固定されています。特に横須賀市で養成したマイスターがありました。このところやっていますし、環境教育の指導者を育てる講座を市が中心になって我々が一緒になって、エコマイスターではないですが賞などを与えてこれから環境教育を手伝っていけるようなプログラムを考えていく必要があると思います。私はかながわ環境カウンセラー協議会で神奈川県全体の環境教育を見ていますが、他の市町村を聞いても横須賀市が一番進んでいます。こんな感じで色々な団体が集まりネットワークを作り、環境教育をどうしたらいいかとやっているところは他に見当たらないです。他の市町村を調べたことはありますか。

事務局（笠原主査）

このマスタープランに相当するものが県内にあるかどうかは調べました。横浜市、川崎市は横須賀市と同じく平成20年に作成しました。最近では今年綾瀬市が、そして鎌倉市が作成したが、実際ネットワーク会議のようなものはどうかと言うと、環境促進法の中では、このような連絡調整会議ができるという位置づけはあります。

高橋座長

横須賀市はそれができるずっと前からやっていましたね。

事務局（笠原主査）

国が動く前に、このプランを作ったのでこの会議があったので、先駆者と言いますか先駆けではないかと思えます。座長の仰るこの場がどこの自治体にも存在するものではないと思えます。非常に有意義と思えます。

高橋座長

そのような意味から言うと、モデルになるとするとあまり変なことはできません。皆さんのお力で良い方向にもっていただけたいと思います。ありがとうございました。

では、事務局から連絡事項をお願いします。

事務局（小澤課長）

私からお礼とお願いをさせていただきます。

第3期環境教育・環境学習ネットワーク会議の構成員としてお忙しい中ご出席いただき、また事業にご参加いただきましてありがとうございました。この2年間の会議では平成23年度から始まりましたトライアル事業が終わり、その成果として「よこすかECO通信」を

継続して発行しています。また年間を通して相互交流を生かした人材育成講座が定着し事業として進んでいます。またより良いものを作っていくために貴重なご意見をいただきありがとうございました。また引き続き皆さまのご意見をいただきたいと思いますのでよろしくお願い致します。この後、主査より次期委員へのご就任のご意向のご案内をしますが、私たちとしましては是非皆さまに引き続き構成員としてやっていただけることが願いでございます。どうぞよろしくお願い致します。またマスタープランの中間見直しを見ていただきましたが、まだ途中でございますので、出来ましたらこれが完成するまではお願い致します。ありがとうございました。

事務局（笠原主査）

今、課長から話がありましたが第3期の任期が7月31日までとなっております。改選にあたり皆さまのご意向をうかがいたいと思います。本日も結構ですし、後日FAXを送っていただければと思います。構成員の氏名、継続・辞任を記入していただき、是非継続していただきたいと思います。今日ご欠席の方につきましてはこちらから別途ご連絡させていただきます。職員の方は最終的には所属長とのやりとりもありますので、ご意向を伺いますが、別途改めてご連絡いたします。

ECO通信6月号の原稿が固まってきました。まだ余裕がありますので、先に原稿の確認依頼を行います。6月の第2週の発行を予定しているので、講座やイベントを6月号に載せたい記事がありましたらご連絡をください。先程の庁内の事業をまとめた一覧表もECO通信のネタに活用させていただき、良い事業があれば隙間に入れたいと思います。個別に情報をお持ちでしたらお願いします。来週の半ばまでに情報をいただければと思います。

議案2のマスタープランの件は6月17日までにご連絡をいただければと思います。意向調査も6月17日までをお願いします。また先程、座長からお話がありましたが、人材育成講座の企業の案に関して良いアイデアがありましたら6月17日までにお問い合わせいたします。

高橋座長

それでは長い時間、ありがとうございました。これにて会議を終了します。